



2009-2010 年度 RI テーマ  
「ロータリーの未来は、  
あなたの手の中に」  
RI 会長 ジョン・ケニー  
地区ガバナー 村上 有司



# 海南東ロータリークラブ

## ROTARY CLUB OF KAINAN EAST

RI District 2640 Japan

## 第 1597 回例会

平成 21 年 12 月 14 日(月)

ゲスト卓話 衆議院議員 石田 真敏 様

1. 開会点鐘
2. ロータリーソング 「我等の生業」
3. ゲスト紹介 衆議院議員 石田 真敏 様

4. 出席報告  
会員総数 67 名 出席者数 42 名  
出席率 63.64% 前回修正出席率 81.81%

5. 会長スピーチ 会長 花畑 重靖 君

みなさん、こんにちは。  
衆議院議員の石田 真敏  
様、公私ご多忙の中、卓話  
におこし下さいましてあ  
りがとうございます。

クラブ年次総会は 12 月  
7 日に開催されました。谷  
脇様「ペット」会長エレクト  
研修セミナー、12 月 5  
日、12 月 6 日とご苦労様  
でした。一年前まで、ペッ  
ツといっても何のことかわからなかった。

ロータリーの主な行事と会合について、少し話さ  
せて頂きます。

ロータリーの主な行事と会合

### 1. クラブ例会

ロータリークラブの定款・細則に基づき、クラブが  
行う週 1 回のロータリーで最も重要な会合です。例会  
は親睦と奉仕の出発点であり、楽しみながら自己研鑽  
を図る場であり、毎週同一の曜日、時間、場所で開催  
されます。

当クラブは毎週月曜日、12:30~13:30、第 1 月  
曜日は 18:30~19:30 です。海南商工会議所で開催  
されています。

### 2. クラブ理事会

クラブの管理主体で年次総会において選ばれ、理事  
会は少なくとも月 1 回は開かれます。クラブ理事会の  
決定は最終である。



### 3. クラブ委員会

会員は何れかの委員会に所属します。そして各委員  
会はロータリーの奉仕活動について調査、研究、企画  
を行い、委員長はその結果を理事会に報告してその承  
認を得てから実行します。

### 4. クラブ協議会

クラブのプログラム活動について協議するため、ク  
ラブ役員、理事、および委員会、委員長などによる会  
合で通常、年に数回開催することを要請されています。

### 5. クラブ年次総会

クラブが細則の定めるところにより、毎年 12 月 31  
日までに開催し、次年度の役員および理事を選挙しま  
す。

### 6. クラブ・フォーラム

クラブ内単位の討論会のこと。  
クラブ会員にロータリー情報を伝達することを目的  
とする全クラブ会員の公式会合です。

### 7. 情報集会

ロータリー情報を伝達し、話し合う会で会員への情  
報提供に最も必要な集会です。

### 8. RYLA (ライラ)

ロータリー青少年指導者育成プログラム

### 9. インターシティ・ミーティング

略して IM といいます。地区ガバナーの要請により  
各地区代理が主催して開催します。

### 10. ガバナー公式訪問

ガバナーが公式にクラブへ訪問する。

### 11. 加盟認証状伝達式

一般にチャーターナイトと呼ばれます。

### 12. 会長エレクト研修セミナー

PETS (ペット) と略して使われています。

### 13. 地区協議会

地区ガバナー・エレクトが地区ガバナーと協力して  
開催します。地区協議会は次年度クラブ会長、幹事を  
中心に、次年度にクラブを運営する主な人々を集めて  
開催されます。

### 14. 地区大会

地区年次大会は、地区における最大の行事です。

### 15. 国際協議会

ガバナー・エレクトにロータリー教育を行うことの  
会議です。

### 16. 規定審議会

四つのデスト 言行はこれにてらしてから

- ①真実かどうか ③好意と友情を深められるか  
②みんなに公平か ④みんなのためになるかどうか



事務所 〒642-0002 海南市日方 1294(海南商工会議所内)

電話(073)483-0801 FAX(073)483-2266

会長：花畑 重靖 幹事：寺下 卓 SAA：名手 広之

<http://www.kainaneast-rc.jp>

E-mail : [info@kainaneast-rc.jp](mailto:info@kainaneast-rc.jp)







## ニコニコ・BOX

花畑 重靖君 衆議院議員、石田 真敏 様、公私ご多忙の中、卓話におこし下さいましてありがとうございます。

中村 雅行君 石田先生、お忙しいところ当クラブへおこし頂き有難うございます。

山名 正一君 石田先生、本日はようこそお越し下さいました。

名手 広之君 先般、奥様と旅行に行きました。昔住んでいた寮を訪ねたのですがもうありませんでした。

理事一同 理事会の剰余金です。



ROTARY WORLD MAGAZINE PRESS

## ロータリーの友

### インドネシアで教育の機会を開く

インドネシア、アチェ州の子供たちは、2004年の大津波と30年以上に及ぶ紛争により、教育を受けることさえままならない状態でした。南アジアを襲った津波では、20万人以上の犠牲者が出ました。さらに、中央政府と独立派グループの長期的な紛争は2005年に平和協定の調印に至ったものの、アチェ州の教育施設の整備は遅々として進んでいませんでした。

こうした子供たちの窮状に心を痛めた第2780地区（日本）のロータリー財団学友会は、支援活動に動き出しました。インドネシアの非政府組織「コミュニタス・ティカール・パンダン」からの問い合わせに応じて、アチェ州の子供たちのために図書館をつくることを決めたのです。

学友会は、昨年3月逗子市にて、図書館プロジェクトのためにアチェ・チャリティーコンサートを開き、16,000米ドルを集めました。

「2008年10月の地区大会を皮切りに、（ロータリーの）都市連合会、新年会、例会ととても多くのクラブを回らせていただいた」と話すのは、学友会代表幹事で、1993-94年度国際親善奨学生として米国へ留学した高橋潤さんです。「本当にたくさんの皆さまからチケットを購入していただきました。その過程で多くのロータリアンの方々からいただいたご助言や温かいお言葉にとっても勇気付けられ、学友一同感謝しております」

「子供・未来・夢」をテーマに行われたコンサートには、ロータリー奨学生としてイタリアに留学した4名、ソプラノの渡辺ローザさん（2000-01年度）と渡辺昌子さん（2001-02年度）、ピアノの高橋裕子さん（1992-93年度）、ヴォーカルの辻康介さん（1997-98

年度。音楽グループ「ビスメロ」主宰）が出演しました。第2780地区ロータリー財団委員会をはじめ、逗子ロータリー・クラブ、逗子市教育委員会、インドネシア大使館、日本財団、そして数多くのロータリアンと学友の後援を受けて実現したコンサートです。プロジェクトでは、「コミュニタス・ティカール・パンダン」の協力を得て、本、本棚、机、椅子を備えた図書館を3つの村につくることができました。7月にはロータリアン2名と学友2名がプロジェクトの実施地を訪問しました。

「村は紛争の中で数々の困難を乗り越えてきました」と話す佐藤万帆さんは、1994-95年度国際親善奨学生として英国に留学しました。「どの村の子供たちも精神的に大きな傷を負っていますが、この新しい図書館が村の発展と子供たちの成長に寄与できることを願っています」



写真上：インドネシアにおける図書館プロジェクトにて、学友の高橋潤さんと佐藤万帆さん。通訳の沼澤麗さん。柚木裕子さん（かながわ湘南ロータリー・クラブ、1972-73年度国際親善奨学生としてフランスへ留学）、宮垣正信さん（伊勢原平成ロータリー・クラブ）。写真下：日本からのプロジェクトチームを歓迎するマタン・セジック村の子供たち。（写真提供：高橋潤さん）

### エストニアで科学教育の発展に

#### 貢献する財団学友

10月、40人のエストニアの高校生が、3日間にわたりラトビアとリトアニアの原子力発電所やその他各地で、水、空気、土の検査に当たりました。この検査で使用された器具は、マッチング・グラントの資金で購入されたものです。

「現地で実際に器具を使って検査を行う機会を生徒たちに与えられるということは、すべての科学教師の夢ではないでしょうか」と話すのはケイトリン・ライエさんです。2003-04年度国際親善奨学生であったライエさんは、プロジェクトを提唱したロータリークラブとエストニアのタリンにある高校との連絡を取り持ちました。

この高校ではこれまでに、授業や課外活動の科学実習で、24,000米ドル相当の器具を使うことができました。



フィンランド、ヘルシンキ・シティ・ウエスト・ロータリー・クラブのハット・サーリネンさん(左)に贈呈で飾られた感謝状を渡す元国際親善奨学生のケイトリン・ライエさん(中央)。ヘルシンキ・シティ・ウエスト・ロータリー・クラブは、2009年に実施されたマッチング・グラント・プロジェクトで、エストニアのタリンの高校に科学教材を提供しました。写真提供: Laura Leena Raud

同校役員会の役員であり、元教頭のライエさんは、補助金申請手続きと、提唱ロータリークラブ(エストニアのノルメ・タリン・ロータリークラブ、ドイツのマグデブルク・オットー・フォン・ゲーリケ・ロータリークラブ、フィンランドのヘルシンキ・シティ・ウエスト・

ロータリークラブ、マントサラ・ロータリークラブ、トゥースラ・ロータリークラブ、イリケラバ・ロータリークラブ)の間で活動の調整に当たりました。また、ドイツのロータリアンに実験室を案内しました。

通常、奨学生は、留学中にロータリーの奉仕活動を初めて経験しますが、ライエさんは、国際親善奨学金の機会について知った当時、高校の教頭として既にマッチング・グラント活動にかかわっていました。第二言語として英語の学位を持っていたライエさんは、1998年以来、地元のロータリークラブと、フィンランド、ドイツ、米国のロータリアンがかかわる補助金の手続きを幾度にもわたり支援していたのです。

「医療機器の寄贈を受けた病院の視察に来ていた米国のロータリアンを案内していたときのことです」と振り返るライエさん。「米国で修士号を取得する夢を持っていることを話すと、そのロータリアンは、私に国際親善奨学金について教えてくれ、勧めてくれました」

それから2年もたたないうちに、当時38歳だったライエさんは、ロータリーの奨学生としてシカゴのロヨラ大学で、文化と教育方針の分野で修士号の取得を目指すこととなりました。また、シカゴ・ロータリークラブの支援の下、Midwest Estonian Association(中西部エストニア協会)とかかわるようになり、この団体が国際大会参加に向けて準備するのを手伝いました。この国際大会でライエさんがプレゼンテーションも行いました。

ライエさんは、シカゴのラテンスクールでインターンを務めている間、同校の音楽ディレクターのマイケル・ティオリスさんと知り合いになりました。そして、同校の楽隊・合唱団をタリンに招くことをティオリスさんに持ちかけ、2008年、85名の生徒がエストニアとフィンランドを訪れ、8日間にわたり合同コンサートを開きました。

「ライエさんは、この旅行の計画全面において重要な役割を果たしました」とティオリスさん。「この旅行でタリンの生徒が訪問中の生徒に地元を案内してく

れました。中には、いまだに連絡を取り合っている生徒もいます」

貨物郵送協会で2年間、研修カリキュラムの指導を行った後、2009年、ライエさんは、SOS Children's Villages International(SOS子供の村)という団体の地域担当副責任者に任命されました。

「ロータリーの奨学生としての体験と、ロヨラ大学で学んだ知識と技能をこの職務に生かし、子供たちや家族のために貢献したいと考えています」

## 改定された

### RI 長期計画で基本に立ち戻る

RI 理事会は、11月の会合において、3つの優先項目から成る新しい長期計画を採択しました。これら3項目は、ロータリーの未来にとってどれも等しく重要です。優先項目は以下の通りです。



- ・クラブのサポートと強化
- ・人道的奉仕の重点化と増加
- ・公共イメージと認知度の向上

規定審議会からの付託を受け、理事会は、3年に一度の長期計画の見直しを行いました。これには、世界中の14,000人のロータリアンを対象に実施された組織の優先事項に関するアンケート調査、およびロータリーのイメージについて数カ国で実施されたフォーカスグループ(座談会調査)が含まれています。

これに加え、長期計画委員会がロータリーの長所、短所、機会、課題について詳しく分析し、その結果を組織の使命、ビジョン、長期的優先項目に照らし合わせて検討しました。

2010年7月から有効となるこの新たな長期計画には、こうした調査の結果が反映されています。例えば、アンケート調査では、会員増強が明らかにクラブの強さに関連していることがわかりました。また、外部データからは、奉仕とネットワークづくりの機会こそがロータリーの最大の魅力であることが示されました。

長期計画はまた、クラブで最も活発に行われている奉仕分野と、財団未来の夢の重点分野の間のつながりを強調することで、RIとロータリー財団が進むべき方向性を一本化しています。

今後、長期計画委員会とRI理事会は、各優先項目の下に定められた目標をさらに練り上げながら、最大の成果をもたらし、その成果を具体的に測るための方策を定めていきます。

「クラブに力を置くRIの活動を主眼として改定されたこの新しい長期計画は、基本に立ち戻ることを目指している」とトーマス・ソーフィンソンRI理事は話します。「RIの主な役割は、クラブをサポートし、奉仕活動を広げながらその成果を広報しようとするクラブのお手伝いをすることです」